

大会の参加に当たって

- (1) 各所在地の自治体や学校・職場から、移動制限等の要請が出ていないか、最終確認を行うこと。
- (2) 本連盟ホームページの「新型コロナウイルス感染拡大時における水泳競技会出場について」を確認した上で、参加すること。
- (3) 入館前 7 日間において、以下の事項に該当する場合は、入場できない。出発前に入場者全員に該当しないか確認しておくこと。平熱を超える発熱
 - ・ 咳(せき)、のどの痛みなどの風邪の症状
 - ・ だるさ(倦怠感)息苦しさ(呼吸困難)
 - ・ 嗅覚や味覚の異常
 - ・ 体が重たく感じる、疲れやすい等の症状
 - ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
 - ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方いる場合
- (4) 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- (5) 「健康チェック表」を入場者全員が持参しているか確認すること。
提出できない場合は入場できない。必ず責任者が、選手ならびに来場者の健康状態を確認し、確認欄に押印またはサインをすること。宿泊を伴う場合は、当日の検温ができるように各自の体温計を持参しておくこと。
- (6) 厚生労働省から提供を受けている、新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)を活用できるよう準備する。COCOA を入れている場合は、電源をONにした上で Bluetooth を有効にすること。
- (7) マスクを着用していない者は入場を認めない。海上では、泳ぐとき以外はマスクを着用すること。
招集所内では、マスクをはずしてもよいが会話を控えること。招集所でははずしたマスクは、服のポケットか袋に入れること。
- (8) コーチは、練習時の大きな声での指示、ホイッスルの使用を控えること。レース・練習後のマスクをしていない選手との会話では、マスクに加えフェイスシールド、またはアイガード・ゴーグルを着用し、眼からの飛沫感染も防ぐこと。
- (9) 入場から退場時までの全ての場面で、人との距離(2m以上)をとって行動すること。
- (10) レース終了後、マスクを着用してから移動すること。
- (11) 唾や痰を会場内で吐かないこと。
- (12) 食事は、大会当日出場選手は選手控え場所で取ってもよいが、人との距離を2m以上保ち単独で取ること。
- (13) 会場までの交通機関内で、マスクの着用、人との距離、座席間の距離、車内換気、会話などに留意すること。
- (14) 以下のものについては、持ち込み禁止とする。
 - ・ チーム共有のドリンクサーバー
 - ・ アイシングバス、トレーニングバイク等
 - ・ メガホン、横断幕、のぼり
 - ・ 共有で使用するストレッチマット(個人専用は持ち込み可)
 - ・ チーム共有のチューブ、バランスボール等の運動用具(個人専用は持ち込み可)
 - ・ 練習時のパドル・コード類

OWS オーシャンズカップ 2022 二次要項

兼 世界ジュニアOWS選手権 2022 大会代表選手選考会

兼 OWSカレッジカップ 2022

公益財団法人日本水泳連盟

オープンウォータースイミング委員会

■申込状況

参加団体数 43団体

参加選手 93名（男子 55名・女子 38名）

■競技について

- ・本競技会は、「(公財)日本水泳連盟オープンウォータースイミング競技規則」(以下「OWS競技規則」)に則り実施する(一部、ローカルルールを適用する)。

https://swim.or.jp/assets/files/pdf/pages/about/rule/r_ows_20180401_3.pdf

■スケジュール概要

・6月11日(土)

- 13:00 チーム受付・竿検査 開始(北条海岸にて)、公式練習開始
- 13:30 公式練習 開始
- 14:15 チーム受付 終了
- 14:30 公式練習 終了
- 17:00 監督者会議(オンライン Zoom)

・6月12日(日)

- 6:00 大会可否判断。6時以降に連盟 HP「News お知らせ」欄に掲載する。
- 8:00~8:45 5km 選手受付
- 8:30 アップ開始(指定エリアのみ)
- 8:45~9:00 7.5km 選手受付
- 9:30 アップ終了
- 9:40 5km、7.5km 選手招集
- 10:00 5km、7.5km 男子スタート
- 10:02 5km、7.5km 女子スタート 栈橋許可登録コーチ入場開始
- 11:15 10km 選手・給水コーチ 受付
- 11:45 アップ開始(指定エリアのみ)
- 12:00 5km、7.5km 表彰
- 12:15 10km 選手・給水コーチ 受付終了
- 12:30 アップ終了
- 12:40 10km 選手招集
- 13:00 10km 男子スタート
- 13:02 10km 女子スタート 給水栈橋入場開始
- 15:30 10km 表彰

■前日チーム受付（参加必須）前日にチーム受付を済ませること（代理受付可能）

日 時： 6月11日（土）13時00分～14時15分

場 所： 北条海岸 会場内 受付テント

配布物： チームバッグ（ADカード、スタートリスト、確認資料、翌日提出資料）

選手用バッグ（ADカード、ナンバリングシール、スタートリスト、翌日提出資料ほか）

■ADカードの写真について

本大会は、写真付きADカードを使用します。参加選手・付添は、縦4.5cm×横3.5cmの写真を準備すること。

※管理者は写真不要

■公式練習

日 時： 6月11日（土）13時30分～14時30分 仮ブイによる全コース開放（予定）

- ・公式練習の前にチーム受付を済ませ、必ずADカード持参のうえ「入退水」のチェックを受けること。
- ・公式練習の際は、競技コース全体を開放しコースを一周する時はライフセーバーが囲む中での移動とする。

（但し、コース準備の進捗状況、気象状況等によっては、開放するエリアを限定、制限することがある）

- ・コース周回泳は時計回りとし、逆泳は禁止とする。

なお、ラップゲート（給水栈橋先端付近）、フィニッシュエリア、給水エリアは設営中につき、設営状況によっては使用できない場合もある。

■6月11日（土）の給水エリア利用方法

- ・11日（土）の給水エリアに入場制限は設けない。但し、一般人の栈橋への立入りは禁止とする。
- ・給水エリア利用の際は安全に留意すること。
- ・給水エリアで使用する給水竿はOWS競技規則に則ること。
- ・給水で利用した飲み物容器（ペットボトル）等は必ず持ち帰ること。
- ・この日の給水エリアは設営中につき、大会当日の仕上げ仕様とは異なる。
- ・大会当日、5km、7.5km競技での給水はできない。（栈橋許可登録コーチは入場可）

■監督者会議（Zoom オンライン会議）

日 時： 6月11日（土）17時00分 開始（16:45より入室可能）

- ・本会議はオンライン会議（Zoom）にて実施する。参加URL、ミーティングID、パスコードは、後日HPアップ予定の監督者会議資料に掲載する。（6月9日掲載予定）

- ・監督者会議資料は、各自でHPからダウンロードし、事前に熟読しておくこと。（当日配布は行わない）

※なお、オンライン会議アプリ「Zoom」を使用予定の為、予めZoomをインストールしておくこと。

■大会当日 選手（給水コーチ）受付

場 所： 北条海岸 会場内 受付テント

日 時： 6月12日（日）

8時00分～8時45分 5km 男子・女子 受付開始

8時45分～ 7.5km 男子・女子 受付開始

9時00分 受付終了

※5km、7.5kmでの給水はできないが、栈橋入場許可登録は可能。

11時15分 10km給水コーチ 受付開始

12時15分 受付終了

方 法：

- ・会場ゲートにて消毒と検温を済ませ、「選手・スタッフ 健康チェック表」を1人1枚提出する。(毎日提出)
- ・選手受付の際は、本人確認(ADカード発行)、「OWS健康チェックシート」を提出、競技で着用する水着・スイムキャップ、ゴーグルのチェック、手足の爪チェック、装飾品(ジュエリー類)チェックをおこなう。
- ＊注意：選手は「選手・スタッフ 健康チェック表」とは、別に「OWS健康チェックシート」も提出すること。「選手・スタッフ 健康チェック表」「OWS健康チェックシート」はHPからダウンロードすること。
- ・ナンバリングシール貼付は各自でおこなう。場所と向きに注意しながら貼ること。
- ・トランスポンダーを1選手につき2つ配布する。選手招集までに両腕に着用すること。
ビニールテープを使用する場合は各自で用意のこと。
- ・水着チェックの際は、着用でも持参でも構わない。FINAマークが見えるように提示すること。
- ・手足の爪の手入れをし、装飾品(ジュエリー類)を取り外してから選手受付をおこなうこと。
- ・ウェットスーツ着用の場合は、ナンバリングシール、もしくは白色パステルクレヨンにて番号を記載するので、係員の指示に従うこと。

■入場ゲート

- ・感染対策強化のため、必ず入場ゲートを通して会場へ入退場すること。
- ・その日初めて入場する時にゲートで検温し、検温済みリストバンドを手首またはADカードに巻きつける。
- ・リストバンドはその日終日、切り取ってはいけない。(選手のみ、招集直前で切り取り可)
- ・リストバンドは毎日カラーが変更される。
- ・ADカードに顔写真がない場合は、入場を断る場合がある。(チーム共用ADをのぞく)

■大会当日 ウォームアップ

日 時：6月12日(日)

8時30分～ 9時30分(9時30分退水) 当日指定エリア

11時45分～12時30分(12時30分退水) 当日指定エリア

■給水コーチ(10km)・帯同コーチ(5km、7.5km)の栈橋入場許可登録及び給水竿検査

日 時：6月11日(土)13時00分～14時30分 → 北条海岸 会場内 受付テント

6月12日(日)11時15分～12時15分 → 北条海岸 会場内 受付テント

- ・給水竿が不合格となり、再検査を命ずる場合もある為、なるべく前日(11日)の竿検査を推奨する。
- ・栈橋入場許可登録(ADカードへ栈橋入場許可のスタンプを押印)
- ・給水竿検査(合格竿には検査済証シールを貼付)
- ・給水竿(フィーディングポール)は5m以内とし、その先端にはロープやワイヤーが垂れさがってはいならず、30cm×20cm以内のチーム旗のみ装着することが許される。(OWS6.16)
- ・給水竿のチーム旗は布製とし、ラミネートされた掲示類は認めない。
- ・5km、7.5km競技で給水はできないが、栈橋入場許可登録をした帯同コーチは栈橋からのコーチングができる。

■給水エリア入場方法および注意

- ・給水栈橋は、スタート前には入場できない。
- ・ADカードに栈橋許可シールが貼られた登録済みコーチ以外の関係者は、栈橋に入場できない。
- ・競技スタート前、コーチは栈橋入口にて男女別の選手ナンバー順に列を作って待機する。
- ・午前、午後ともに女子スタート後、登録済みコーチのみが係の指示で栈橋入場可能となる。
- ・入場は、午前は男女4列、午後は男女2列同時の選手ナンバー順とする。各種目別に男女で列を作り、

各列の先頭は、係に呼ばれたら指示に従って同時に入場する。係は、密を避けるため、タイミングをあけてこの指示を繰り返す。

- ・給水およびコーチングは、指定された給水エリアで行う。
- ・給水竿は、今大会の検査済証シールを貼付したものを使用すること。
- ・給水エリアでコーチに違反行為があった場合、当該コーチではなく、競技者本人にイエローカード、または、レッドカードの処分が課せられる。(OWS 3.6 及び 6.3.1)
- ・給水エリア内での撮影行為は禁止とする。
- ・給水エリアから物(食べ物を含む)を投げてはならない。
- ・選手は給水竿か手渡して物を受け取らなければならない。(但し、選手と給水コーチは同時に物に触れてはいけない)(OWS 6.16)
- ・コーチが他の選手の妨害をするなどの行為があった場合は競技者本人へイエローカードが出される。
- ・指定エリア内であればどこで給水を行っても良いが、同じ場所に居座る(占有する)ことを禁止する。
- ・担当選手の給水・コーチングを終えたら一旦後列に下がり、他のコーチと譲り合って利用すること。
- ・密を避けるため、ディスタンス指示のテープラインの中には、それぞれ1名しか入れない。
- ・給水竿は前列に置いたままで良いが、保冷バック等は給水エリア後方に置くこと。
- ・海上に浮遊するコップ等のゴミは、タモ網等により責任を持って回収し、各自で処分する。
- ・給水エリア最後方は通行できるように空けておくこと。
- ・競技終了後は、飲み物容器やゴミ等は必ず持ち帰ること。
- ・給水エリア内では必ずマスクを着用し(フェイスシールドのみは不可)、選手への節度ある声掛けは可とするが、大声は厳に慎むこと。
- ・ホイッスル、メガホン等の拡声機材は使えない。

■選手招集

- ・選手招集の際は、ADカード、前日配布の選手バッグ(選手個人袋)を持参すること。
- ・トランスポンダーを両腕に装着してくること。
- ・招集時のマスク着用は、入水直前まで必須とする。
- ・審判長からの最終ブリーフィング後、選手コールが始まったら、競技役員の指示に従いビーチ待機位置へ移動する。
- ・ビーチ入口「選手ADボックス」にADカードを入れてビーチ待機位置へ移動する。
- ・サンダルやセーム等の荷物をビーチ待機位置まで持っていく者は、選手個人袋もビーチまで持参する。
- ・ビーチではディスタンス指示用のマーカーコーンに一人ずつ立ち、互いの距離を保って待機する。
- ・入水直前にマスクを外し、マスク・サンダルを含めた全ての個人手荷物を選手個人袋に入れる。
- ・選手個人袋はフィニッシュ後に招集テントの自分の椅子にて回収する。
- ・選手個人袋に入れずにビーチに残された荷物は全て処分し、選手には返さない。

■スタート

- ・スタートラインは、水面に張られたロープにより示される。
- ・選手はスタートライン(ロープ)の前に位置し、後ろ手(片手)でロープを握り、フローティングで待機する。
- ・審判長のホイッスルの後、スターターのホーン(=フラッグの振り下ろし)によりスタートする。

■ラップゲート

- ・給水栈橋付近にラップゲートを設置する。
- ・選手はスタート時を除き、周回毎に必ずラップゲート内を通過しなければならない。

■フィニッシュおよび途中退水

- ・フィニッシュゲートのタッチ板にタッチした時点でフィニッシュとする。
(手のひらで確実にタッチすること)
 - ・タッチ板にタッチしなかった場合は、フィニッシュと認められない。
 - ・フィニッシュした選手は必ずトランスポンダーを返却しなくてはならない。
 - ・トランスポンダー返却後、呼吸が整い次第、マスクを着用すること。
(新しいマスクは、フィニッシュ後、ADコントロールデスク付近で配布する)
 - ・レース途中でトランスポンダーを紛失しても左右どちらかに1個のトランスポンダーが装着されていればフィニッシュと認める。トランスポンダー2個紛失の場合はフィニッシュと認めない。
 - ・競技途中で退水(リタイア)をした場合は、必ず救護テントにて、医師の診察を受けること。
- また、ADカードを持った競技役員が来るまで救護テントで待機し、トランスポンダーと引き換えにADカードを受け取ること。

■表彰

- オーシャンズカップ 5 km、7.5 km、10 kmの男女それぞれ1位～8位入賞者に表彰状を授与する。
- カレッジカップ 5 km、10 kmの男女それぞれ1位～8位入賞者に表彰状を授与する。
- ・表彰式を行う。ただし1位～3位はフォトセッションを予定。
 - ・各競技終了後、大会本部にて各自で賞状を受け取る(ADカードを持参する事)。

■選手ナンバーの抽選と発表

- 日 時 : 5月23日(月) 機械式自動抽選により決定。
5月24日(火) (公財)日本水泳連盟ホームページ内OWSの「NEWS お知らせ」欄で発表する。

■荒天時の対応

- ・競技実施については、天候状況により競技時間・距離・コースを変更して行うことがある。
- ・競技実施の可否および競技方法の変更等については、当日朝6時に決定し、(公財)日本水泳連盟ホームページ内OWSの「NEWS お知らせ」欄にて通知する。
- ・上記以前に開催が難しいと判断した場合も、同じく「NEWS お知らせ」欄にて通知する。

■その他

(1) OWS 競技の水着

- ・(公財)日本水泳連盟「水泳競技会において着用又は携行することができる水泳用品、用具のロゴマーク等についての取扱規定」に準ずる。この基準はスイムキャップやゴーグルにも適用されるので、受付時に検査を受けること。

https://swim.or.jp/assets/files/pdf/pages/about/rule/r_k16_20190310.pdf

(2) 安全について

- ・(公財)日本水泳連盟 「OWS 競技に関する安全対策ガイドライン」 に則り実施する。

https://swim.or.jp/assets/files/pdf/pages/about/index/g_03.pdf

- ・(公財)日本ライフセービング協会から派遣されたライフセーバーが海上でガードする。
- ・棄権の場合は、大会本部に申し出ること。
- ・途中棄権の場合は、ライフセーバーに申し出てその指示に従うこと。
- ・緊急時には競技役員、係員の指示に従い避難すること。

・競技中、伴漕するライフセーバーに選手を先導する役割はない。なお、明らかなコースアウトと判断された場合には“善意の第三者”として方向修正等のアドバイスを行うことがある。

(3) 本大会は、上訴審判団を設置する。競技に対して抗議する場合は、競技終了後 30 分以内に大会本部の抗議書に必要事項を記入し、抗議申請料 10,000 円とともに大会本部に提出すること。抗議内容が認められた場合は、抗議申請料を返金する。

(4) 選手選考を辞退する場合は、辞退届を大会当日の種目ごとの選手受付終了時間までに、大会本部へ提出すること。

(5) 本大会は、JADA によるドーピング検査対象となる。

(6) 本大会中は、館山旅館の屋外シャワー（温水）を利用する事ができる。

(7) マッサージエリアは会場内の指定した場所で利用できる。利用に関しては、別紙参照の上、ガイドラインを遵守して利用すること。

(8) ウェットスーツ着用規定は「OWS 競技規則」の付則の通りとする。水温の参考値として、大会一週間前からの現地測定水温を、随時（公財）日本水泳連盟ホームページ内 OWS の「NEWS お知らせ」欄にて通知する。

以 上

連絡事項

その他資料は、整い次第、公開いたしますので、引き続きホームページを確認してください。